

以下、本文-----

## 脳動脈瘤の増大およびコイル塞栓術後再発におけるパロキセチンの抑制効果の後ろ向き検討

### 1. 研究の対象

2010年1月1日から2020年10月31日の間に当院で未破裂脳動脈瘤に対して画像検査を施行した方。このうち、パロキセチンを内服中の方と、それに相当する数の内服していない方を抽出します。

### 2. 研究目的・方法

クモ膜下出血の主原因は脳動脈瘤破裂ですが、未破裂脳動脈瘤の治療法は外科的治療しなく、薬物治療法は存在しません。これまでの研究で、パロキセチンという抗うつ薬が脳動脈瘤の発生、増大、破裂の抑制に有望である可能性が示されました。そこで本研究では、過去の未破裂脳動脈瘤患者さんのデータを用いて、パロキセチンが脳動脈瘤の増大や再発を抑制するかどうかを解明することを目的とします。研究期間は2021年1月25日から2021年3月まで。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、既往歴、パロキセチンの内服歴、未破裂脳動脈瘤の部位、大きさ、脳動脈瘤増大 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

京都医療センター 福田 俊一

九州医療センター 矢坂 正弘

名古屋医療センター 浅井 琢美

仙台医療センター 井上 敬

嬉野医療センター 宮園 正之

四国こどもとおとなの医療センター 高麗 雅章

長崎医療センター 堤 圭介

災害医療センター 重田 恵吾

舞鶴医療センター 井上 靖夫

九州大学大学院医学研究院 西村 中

高知大学医学部附属病院 上羽 哲也

神戸市立医療センター中央市民病院 坂井 信幸

医療法人清仁会 シミズ病院 清水 史記

国立循環器病研究センター 飯原 弘二

その他、J-ASPECT study 参加施設 <https://j-aspect.jp/sisetsumap.php>

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

高知大学医学部附属病院脳神経外科 福田 仁

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

電話 088-880-2397

研究代表者：

京都医療センター 臨床研究センター/脳神経外科 丹羽 陽子

-----以上